

2024 August
 (発行日) 令和6年8月1日
 (発行所)
 〒425-0062
 静岡県焼津市中根新田1157
 TEL.054-624-1555
 FAX.054-624-1333
 (発行人) 塚本 大

静岡県議会議員 **つかもと大だい**
 無所属、県民目線、現場主義 **県政報告 Tsukamoto Dai**

知事選時に指摘された政党間・地域間の対立を県政運営に持ち込まない!!
県民の思い、最優先!!
県全体の均衡ある発展!
これからの行政には「経営感覚」と「スピード感」が重要!

静岡県議会6月定例会が6月19日に開会され、鈴木康友知事が、就任後初めての本会議で所信を表明致しました。冒頭、知事選で実感した県民の思いや県東部・中部・西部の魅力語り、「県全体の均衡ある発展に向け、オール静岡で幸福度日本一の静岡県を実現する」と宣言致しました。また、これからの行政には「経営感覚」と「スピード感」が重要だと強調し、「鈴木康友流」の県政運営方針

が打ち出されました。また、県議会や県内市町長と連携・協力していくことも強調され、知事選時に指摘された政党間・地域間の対立を県政運営に持ち込まないという姿勢が伝わってくることに、また、「オール静岡」体制構築への強い思いが感じられました。私も鈴木康友知事と共に、安心安全で活力ある地域づくりを目指して努力して参ります。

鈴木知事はこう考える! **リニア中央新幹線**
 私の基本姿勢は、リニア中央新幹線の必要性は理解し、推進する立場であるものの、大井川の水資源及び南アルプスの自然環境の保全との両立を堅持するものであります。国の関与のもと、一つ一つの課題の解決に向けて、大井川流域の市町等としっかりと連携し、JR東海との対話をスピード感を持って進めて参ります。

鈴木知事はこう考える! **防災・減災・暮らし・環境**
 県民の皆様の幸せを実現する為には、有事に備え、生命・財産を守る為の取り組みが極めて重要であります。本年1月1日に最大震度7を観測した能登半島地震では、多くの人命が犠牲となりました。伊豆半島を有する本県においても、今回の震災を教訓に、半島防災の取り組みを強化して参ります。それに加え、近年、頻発化、激甚化する豪雨災害等を踏まえ、市町とも連携した上で、「TOUKAI-0」による家屋の耐震化等の「自助」、自主防災組織の支援による地域防災力の

鈴木知事はこう考える! **行財政改革**
 今後、人口減少に伴う更なる税収減が予想され、財政の状況が厳しさを増すことが想定されております。こうした中、県民の皆様が必要とする行政サービスをしっかりと確保し、地域社会を維持していく為には、これまで以上に、歳入歳出両面の徹底した見直しや、施策の重点化等に取り組む必要があります。行政においても、最少の経費で最大の効果を生むことが大原則であり、県行政に経営の視点を注ぎ込むことで、より一層の重点化と効率化を図

本会議答弁要旨
中小・小規模事業者の賃上げにつながる価格転嫁への支援
【答弁】日本商工会議所の調査によりますと、今年の春闘での中小企業の平均賃上げ率は3.62%にとどまり、5%を上回っている大企業とは大きな格差があります。賃上げにつながる適切な価格転嫁を実現する為には、**発注企業と受注企業双方への働き掛けが重要**であると捉えております。まず、発注企業に対しては、下請取引の適正化に向け国が進める「パートナーシップ構築

宣言」制度の普及啓発に努めております。現在、県内の登録企業数は昨年との2倍に上る2千社を超え、価格転嫁受入の機運が一定程度醸成されたと認識しており、引き続き注力して参ります。次に、受注企業に対しては、今年度新たに、価格交渉力向上を目的とした経営者等向けのスキルアップセミナーを開催する他、商工団体の経営指導員を通じて、国が作成した価格交



子育て支援を強化

地方創生

鈴木知事はこう考える! **子育て・教育 医療・福祉**

子どもは未来の宝との認識のもと、「こども第一主義」の姿勢で取り組んで参ります。出生率の低下は大きな課題であります。その主な原因である未婚化と晩婚化にしっかりと向き合い、結婚、妊娠、出産、子育ての各段階で切れ目のない支援を行うことで、安心して結婚や子育てが出来る環境を整えて参ります。また、未来を担う人材を育成する上で、教育の果たす役割は重要であります。不登校の児童生徒に対しては、パーチャルスクールやフリースクール等との連携により、誰一人取り残さない教育を推進するとともに、デジタル人材の育成や特色ある高校教育を推進する等、子どもの才能を伸ばす教育にも力を入れて参ります。人生100年時代を迎える中、健康寿命の延伸がますます重要となっております。本県は、既に全国有数の健康長寿県ではあります。医療健康産業の進化や山梨県との医療連携、さらには温泉や食といった県内の資源を結びつけた取り組みを進めて参ります。また、誰もが住み慣れた地域で自立した生活を送れるよう、地域包括ケアの充実を図って参ります。さらに、全ての県民の皆様に必要な医療を提供する為には、医師不足の解消が必要であります。本県の医師不足につきましては、県全体として医師の絶対数の不足とともに、県内の地域的な偏在が大きな課題と捉えております。この為、医療関係者の御意見も伺いながら、例えば若手医師の受入環境を整えながら、既存の医学修学研修資金制度を拡充する等、まずは即効性のある対応を検討して参ります。

Tsukamoto Dai
大ジェスト Digest
 dai DAI通信 第36号

鈴木康友知事と共に、新しい静岡県を!



無所属・県民目線・現場主義
地方から変える!
県民目線の政治を
取り戻す!!

全ての県民の皆様と力を合わせて、
オール静岡で
幸福度日本一の
静岡県を実現!

鈴木康友知事の県政運営にあたっての基本的な考え方

5つの経営方針
 ① 県政においても経営感覚を持ち、将来世代に対して責任を負うこと
 ② 税金を無駄にしないこと
 ③ 前例踏襲や役所の常識にとらわれず、新しいことに挑戦すること
 ④ 「巧遅より拙速」
 ⑤ 人を活かすこと

の経営方針は、大きく5つあります。まず、**第1の方針は、県政においても経営感覚を持ち、将来世代に対して責任を負うこと**であります。今を生きる人々や社会に対して的確な施策を講じ、福祉の向上や社会の発展に力を注ぐことは当然ですが、それと同等に将来世代に対して責任を負うことが必要であります。税金も資源も有限であり、将来と現在のバランスをとっていかねばなりません。こうした基本的な考えのもと、将来にツケを残さない健全財政の堅持に努めるとともに、将来を見据えた様々な施策にも取り組んで参ります。**第2の方針は、税金を無駄にしないこと**であります。私達が動かす大きなお金は、県民の皆様からお預かりした大切な税金であります。職員、そして私自身も、地方自治法に定める「最少の経費で最大の効果を挙げる」ことを、戒めとして参ります。**第3の方針は、前例踏襲や役所の常識にとらわれず、新しいことに挑戦すること**であります。時代が大きく変化している中、時代の先を読み、新しいことに意欲的に挑戦する姿勢が求められております。その為には、自治体の体質や組織の考

鈴木知事はこう考える! **産業・観光**
 地域や東部地域は、首都圏からのアクセスが比較的良好であることから、スタートアップ誘致やコミュニティ形成等の取り組みを、積極的に進めて参ります。また、本県内に企業を集積させることで、より効果的な産業発展を目指す観点も重要であります。その為、企業立地件数日本一を目指し、企業誘致の関連施策を充実させて参ります。特に、本県においては、進出したい企業があるにもかかわらず、土地が不足し、ボトルネックとなっております。規制緩和の仕組みを活用し、速やかな農地転用によって産業用地を創出した浜松市の事例も踏まえ、県内全域で産業用地の確保に努め、企業誘致を一層推進して参ります。加えて、大きな可能性を有する第一次産業の振興も重要であります。本県は豊かな自然に恵まれ、質の高い多彩な農



私が議員でなかった4年間を総点検! 取り組みの遅れを取り戻す!!

私が議員でなかった4年間の心配事の1つとして、「私が推進してきた事業の進捗状況とその報告」があります。
現場に足を運び、関係者のお話を聞かせて頂く、「道路や河川、公園等、整備に時間がかかるのはわかるけど、最近どうなっている?」という声が聞かれます。
目に見える形で整備が行われていない時でも、測量や地権者との用地交渉等が進められていることがあります。しかし、そうした状況をきちんと報告していないと「最近、何も事業が進んでい

ない。」と思われてしまいます。
私の県政報告資料「大jesto」は、「年間4回開催される定例会の内容」と、「その間に私が行っている調査や要望、各事業の進捗管理等、その状況」を報告する為のものです。
今後も、県民の皆様のご理解を頂きながら、各取り組みを推進し、安心・安全で活力のある地域づくりを目指し、努力して参ります。

国道150号バイパス

【街路事業】
【現状】
・R6は道路工、情報BOX工を推進
【今後の予定】
・R6事業完了予定

【道路事業】
【現状】
・R6は用地補償、道路工を推進
【今後の予定】
・未買収用地の早期取得を目指して交渉を進めていく。
・用地取得箇所から順次工事を実施していく。

※情報BOXとは
・「情報BOX」とは、光ファイバーケーブルを収める為のさや管を、複数(通常は6管)内部に収めた管路で、主に、国が管理する国道の地下に設置しています。
・「情報BOX」には、安全で快適に道路を利用出来るように道路を監視したり、道路利用者へ情報を提供する等の為の光ファイバーが敷設されています。
・また、当面空いているさや管は、IT社会の実現に向け、全国的な光ファイバーネットワーク構築を支援する為、通信関連会社等の民間業者に開放しています。

街路事業 約0.4km
道路事業 約1.9km (高新田・吉永工区)

主要地方道焼津森線

【現状】
・R5末事業進捗率70% (事業費ベース)
・R5末に東名直下の函渠工事が完成
【今後の予定】
・未買収用地の早期取得を目指して交渉を進めていく。
・R6は7件の用地補償を行う。
・R6は道路工L=120m、取合道路工を施工予定。

県道大富藤枝線

【現状】
・R6は歩道工を推進 (用地取得率: 約9割)
【今後の予定】
・西側歩道の工事を進めるとともに、未買収用地の早期取得を目指して交渉を進めていく。

小川島田幹線

【現状】
・R6は用地補償、道路工を推進 (用地取得率: 約4割)
【今後の予定】
・未買収用地の早期取得を目指して交渉を進めていく。

瀬戸川保福島親水公園

《インターロッキングブロック舗装とは》
・インターロッキングブロック舗装とは、通常のアスファルト舗装(見た目が黒い舗装)と異なり、インターロッキングブロックで表層を構築する舗装のことです。(街中の歩道等によく使われています)
・インターロッキングブロックとは、ブロック同士のかみ合わせによって交通荷重を分散させる方式の高強度ブロックのことです。(多種多様な形状・寸法・色調のものがあり、組み合わせで多くのパターンを作ることが出来ます。)

工事概要
R6インターロッキングブロック舗装工 A=400m²
河川海岸環境整備事業 施工箇所(右岸下流から)

工事概要
R6インターロッキングブロック舗装工 A=400m²
河川海岸環境整備事業 施工箇所(右岸上流から)

塚本大が市議会議員時代から力を入れて取り組んでいる 治水対策! 県内他地域より遅れていた焼津市内の計画が6月7日に公表

「氾濫を出来るだけ防ぐ為の対策」「被害対象を減少させる為の対策」「被害の軽減・早期復旧・復興の為の対策」等の取り組みにより治水対策推進!

静岡県の治水対策の取り組みにつきましては、今までも機会あるごとに「大jesto」で紹介して参りましたが、先日、県内他地域より遅れていた焼津市内の治水対策の計画「水災害対策プラン」が策定され、6月7日に公表されました。

今後は、県・関係市が連携して計画に位置付けた各種対策を実施するとともに、適宜、志太地域流域治水協議会や幹事を開催し、計画の進捗管理を行い、既に策定されている「流域治水プロジェクト」と併せて、治水対策の推進を図って参ります。

「水災害対策プラン」と「流域治水プロジェクト」につきましては、私のホームページの「ニュース」下段の各項目をクリックすることでご覧頂けます。

河川の適切な管理

「水災害対策プラン」や「流域治水プロジェクト」にも記載されているとおり、静岡県では、定期的に河川における堆積土砂の浚渫を行っております。

今後も河川の適切な維持管理に努め、安心安全に暮らせる地域づくりに取り組んで参ります。



塚本大が市議会議員時代から力を入れて取り組んでいる 河川清掃の負担軽減!

- 昨年度、焼津市を管轄する島田土木事務所にリモコン式草刈り機2台を配備
- 今年度、軽トラックでの運搬が可能な小型の機種を8月までに1台導入決定!

静岡県における河川清掃の負担軽減への取り組みにつきましては、今までも機会あるごとに「大jesto」で紹介して参りましたが、県内他地域より遅れていた島田土木事務所へのリモコン式草刈り機の配備が、昨年度行われました。

その結果、草刈り作業の負担軽減が図られる等の評価を頂く一方、草刈機の軽量化を求める御意見等も頂きました。そこで、今年度におきましては、更なる除草の効率化を図る為、軽トラックでの運搬が可能な小型の機種を8月までに導入することと致しました。

今後も、配備台数の追加等、一層の効率化を図るとともに、地域の皆様の利用実態に応じて、使いやすくなるよう、改善に努めて参ります。

本会議 認知症の方の見守り 質問・答弁要旨

認知症の方が安心して外出できる 優しい街づくりを推進!

【質問】 令和7年には65歳以上の5人に1人が認知症を発生すると推計されており、認知症の方のおひとりでの外出による行方不明は、令和4年には283件であったと聞いています。
認知症の方の見守りについて、県内でもいくつかの市町において、ICT機器を活用した「見守りシステム」が導入されていると聞いていますが、デジタル技術を最大限に活用することは、見守り体制に大きな効果があると考えており、一層加速させていくべきではないかと思えます。

【答弁】 認知症の方が安心して外出するには、地域の見守り体制づくりとともに、行方不明になった際に早期発見出来るよう、市町域を越えた体制の構築及びICTの活用が重要であると認識しております。

この為、県では、広域で早期に発見・保護出来るよう市町間の連絡体制を整え、市町や警察署等と連携し、運用しております。また、令和6年3月現在、県内21市町において、ICTを活用した見守りシステムが導入されております。

市町の見守りシステムは、地域事情を踏まえ、発信器を貸し出しGPSで把握出来るものや、QRコードにより本人確認が可能となるもの等、様々である為、県としては、市町ごとのシステムの状況や活用事例を紹介し、導入に向けた課題

交通安全対策

本年2月20日午後、焼津市三右衛門新田の市道で下校中の小学生3人がはねられ大怪我を負った事故で、焼津市、静岡県警察、島田土木事務所等は、4月22日から焼津市内の小中学校の通学路や保育園・幼稚園の散歩経路の合同点検を行いました。そして、4月26日に対策会議を開き、点検結果の共有を行う等、交通事故防止対策を協議致しました。

合同点検の参加者からは、横断歩道の白線等が薄くなっていること(県警察の対策)の他、外側線やセンターラインの引き直しの検討(道路管理者である焼津市の対策)等が指摘されました。

これを受け県警察は、6月から8月にかけて、横断歩行者の安全を確保する為、横断歩道の補修を順次行っております。

県警察におきましては、今後も道路管理者である焼津市と連携し、必要な対策を講じて参ります。



令和6年度 静岡県立焼津水産高等学校 実習船「やいづ」壮行式

5月9日、静岡県立焼津水産高等学校 実習船「やいづ」壮行式が行われました。

壮行式は、実習生の航海の安全と大漁を願い、全校生徒により実習生を見送る恒例行事です。当日は、保護者・職員等を含め、約620人が出席致しました。

今回乗船した海洋科学科3年13名、専攻科1年11名の実習生は、伊豆諸島東方海域での航海・機関実習、カツオ・ビンナガマグロ一本釣り実習、漁場調査、標識放流等の実践的な活動を行いました。

日常とは異なる洋上では、様々な困難が待ち受けていたと思いますが、仲間と協力することで乗り越え、「海の素晴らしさ」「海のゆさび」「海の恵み」を実感し、人間として大きく成長して、5月29日、全員が元気に帰港致しました。

《焼津水産高等学校》
焼津水産高等学校は、水産都市「焼津」の地で、創立102年目を迎える歴史と伝統があり、教育の質、規模ともに日本一の水産高校として、全国にその名を知られた名門校です。この間、1万7千人近くの卒業生を輩出し、地元「焼津」の産業の発展、静岡県の水産業の振興、更には、我が国の水産業を牽引する人材を多数輩出して参りました。

現在、少子化の進行に伴い「生産労働人口」の減少が懸念されています。こうした状況の中、焼津水産高等学校には、水揚げ高日本一を誇る焼津港を中心とした地域の産業を守り、食糧を安定的に供給し、更には、誰もが安心して暮らせる「持続可能な社会の実現」を目指して、地域の未来を担う「逞しい人材」の育成が期待されています。

《実習船「やいづ」》
実習船「やいづ」は、本県唯一の大型実習船であり、現船は竣工から16年目を迎えます。この間、充実した海洋・漁場調査に加え、漁業後継者の育成に熱心に取り組み、本県水産業の発展に貢献して参りました。また、「静岡県の船」として、県民の日クルーズや焼津少年の船等、県民や地域の皆様に海に親しんで頂く機会を提供し、多くの子供たちに夢と希望を与えて参りました。更に、今年2月には、ミクロネシア連邦に寄港し、現地の高校生と交流する等、コロナ禍で中断していた海外寄港地活動も再開致しました。今後は、水産業及び関連産業のリーダー的人材の育成が期待されています。

焼津市におきましても、ICTを活用した見守りシステムを導入しています。
詳しい内容につきましては、焼津市地域包括ケア推進課 054-626-1219 までお問い合わせください。